

# 若楠かわら版

社会福祉法人 若楠  
療育医療センター 若楠療育園  
若楠児童発達支援センター



〒841-0005

佐賀県鳥栖市弥生が丘 2 丁目 134 番地 1

Tel 0942-83-1121

Fax 0942-83-1755

## 「第49回 社会福祉法人 若楠 創立記念の日に」

社会福祉法人 若楠 理事長 前田 博敏

本日は各施設の保護者の会会長様、評議員の皆様、表彰を受けられる職員の皆様ほか沢山の方々にご出席を賜り創立記念の式典を開催できます事を嬉しく思いますと共に、心より感謝申し上げます。

昭和53年、若楠療育園が開設された当時の障害福祉施策は、戦後からの救貧・保護期を経て法整備によって施設建設が進んだ時期でした。現在のように福祉は社会の中心にはなく、多くの施設は市街から離れた場所に建てられる時代でした。

そのような中、若楠療育園は横尾理事長が長女の直美さんが障害を持たれていた事がきっかけとなり「家庭的な雰囲気の中で、みんなが家族のように暮らせる、温かい施設を作りたい」という思から誕生しました。その後、昭和56年の国際障害者年を境に、障害のある人も社会の中で可能な限り通常の生活を送るべきであるというノーマライゼーションの理念が国内で広がり、社会参加と地域福祉への転換が進み始めました。

法人若楠も、時代の流れに遅れることなく入所施設を中心としながらも通所やグループホームの地域福祉や外来診療、子育て支援へと事業は広がりました。また療育、就労支援、相談などは職員が地域に出向いて行うようにまでなり、幅広く切れ目なく包括的に取り組んでいます。その中には、地域からの要望に応えるために職員からの具体的な提案によって始まった事業も沢山あります。

横尾理事長は常々、「支援の現場で働いている職員の皆さんが、福祉の事を一番分かっている。皆さんが地域福祉のリーダーになる時が必ず来ます」と話されていました。今、まさにその時が来ていると感じています。

創立時と比べると福祉に対する社会の考えは大きく変わりました。私たちの仕事はコロナ禍の中でエッセンシャルワーカーと呼ばれ、社会的インフラとしてなくてはならない基盤とされるようになりました。一方、現在の福祉や医療を取り巻く環境は厳しく、全国には人手不足や資金難で赤字経営に陥っている施設は多くあります。国の財政も厳しく、障害福祉事業の経営は今後難しさを増していく事が予測されます。この難局を乗り越えるためにも私たちは、若楠だけの事を考えるのではなく、若楠の人的、物的な資源と技術を地域に開放し、地域社会に貢献することで地域にとって「なくてはならない存在」であらねばなりません。そのことが、未来への道を切り開く力となるのです。

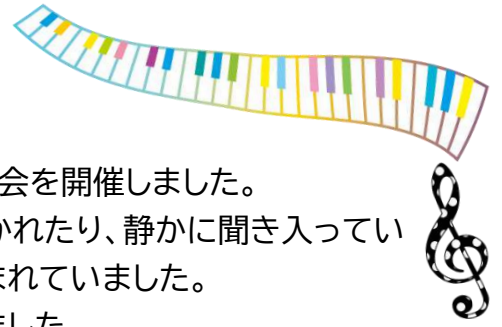
社会福祉法人若楠は、2年後に50周年を迎えます。

「開かれた施設」の捉え方は、時代と共に変化しましたが、さらなる高みを目指し前進してまいりますのでこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。 (令和8年5月1日 一部 抜粋)

## 入所支援部

# ♪ 音楽鑑賞会

今年も、鳥栖商業高等学校吹奏楽部の皆さんをお招きし演奏会を開催しました。たくさんの演奏を、手拍子や体でリズムをとったり、笑顔で聴かれたり、静かに聞き入っている方などそれぞれの受け止め方で最後のアンコールまで楽しまれていました。代表入園者により、お礼の言葉もしっかり伝えることができました。



## 今年も桜が綺麗に咲きました



# 花祭り

お釈迦様の誕生日の4月8日に開催しました。準備から入園者の方と一緒にいき、色鮮やかなお花を手にとって笑顔で飾り付けたり、甘茶をかけたりしてお祝いしました。

花の香りに包まれて華やかな季節の行事と一緒に楽しみました。



## 年間行事

●月1回 誕生日会

**[7月]**

15日(水) 療育園祭(夏祭り)

**[8月]**

22日(土) 弥生が丘夏祭り

29日(土) 弥生が丘夏祭り(予備日)

**[9月]**

7日(月)~30日(水) 保護者面談会

30日(水) 中原特別支援学校終業式

※感染症の流行状況等により、行事内容を中止、延期する場合があります。

ご了承ください。



立派に咲きました!  
入園者が育てた  
真っ赤なチューリップ

## お知らせ

◆衣替えの時期になりました。

衣類ご持参のご家族様へのお願い

- ① 名前の記入をして頂ける場合は衣類の襟元又は裾の内側にひらがなで記載をお願い致します。
- ② 刺繍で靴下の裏糸がたくさんあると、爪が引っかかりやすくなりますのでお控えくださいますようお願いいたします。

(例)



◆外泊のルール変更のお知らせ

これまで外泊の予約は3日前までとしておりましたが、1週間前までに生活棟にお知らせいただきますようお願いいたします。

## つながりやすい事務室をめざして ～事務室改装工事終了のご報告～



このたび、若楠療育園の事務室を広げ、レイアウトの見直しを行いました。新しく広げたスペースには、はめ込みのガラスを取り入れ、扉をガラスにするなど、明るく、外からも中の様子が感じられるような開かれた空間を意識しました。また、これまで壁で区切られていた若楠療育園事務室と本部事務局の間もつながり、日々のやり取りがよりしやすい環境になりました。あわせて、これまで少し閉ざされた印象のあった給湯室も、オープンなカウンターに変身し、イメージを一新しました。

今回の改修は、空間を整えることで、職員同士のつながりや連携がより深まることを期待してのものです。また、これは若楠の将来的な事務部門の集約化を見据えての、ひとつの施策でもあります。人や物の配置を柔軟に行える空間で、これからの働き方の変化にも対応することで、今後の業務運営を支えていきます。

空間が整ったことで、働きやすさは一歩前進しました。一方で、この環境を活かしていくのは、そこで働く私たち一人ひとりです。このことを忘れずに、利用者を支える職員をしっかり支えられる、そんなよりよい職場づくりを進めていきたいと思ひます。

### 【編集を終えて】

冒頭の理事長記事のとおり5月1日に若楠の創立記念日を迎えることができました。これまで施設を支えてくださった利用者の皆さま、ご家族の皆さま、そして関係者の方々に心より感謝申し上げます。

さて、若楠の敷地に入っすぐ、創立当初から立ち続けているシンボルツリー、四本の楠。長い年月をともに過ごし、私たちや利用者の皆さまを静かに見守ってくれた大切な存在です。歳月の経過とともに大きく成長し、駐車場を覆うほどになりました。一方で季節ごとに葉や実が、時には鳥の糞が大量に落ちていることもあります。また昨今の異常気象、隣家への影響や台風時の安全面も考慮し、このたびやむを得ずそのうちの一本を伐採することとなりました。

創立記念式典の後にお祓いをしていただき、この時間は長年にわたる感謝とこれからの安寧を願うひとときとなりました。残る三本の楠は、適切に剪定を施し大切に守ってまいります。また伐採した楠は生まれ変わらせて、何らかの形で残すことも考えています。

これからも地域という大地に根ざし、みなさまから信頼していただける若楠であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務長 新貝 恵美)

生活介護事業



❀ くすくす桜マラソン ❀

SRC ウォーカーや車いすの自走・歩行でコースを回りました。

各ポイントを巡る中で、風景展示に興味を持たれる方や早いタイムでのゴールを目指して頑張られる方など様々でした。



大玉(卵)転がしや、玉(卵)入れ、卵迷路などのイースターにちなんだゲームを行いました。周囲の利用者さんや職員の応援をパワーに、最後まで諦めずに挑戦されていました。



# 若楠児童発達支援センター



おしえて！  
わかすさん

こんにちは！  
若楠児童発達支援センターです。

今回は地域の皆さんがお持ちになりそうな「はてな？」にお答えしていきます。



## Q2 どんな子が通っているの？



2歳から11歳迄の、「生活の中で、なんらかの困りごとをお持ち、お感じのお子さん」が通っております。



## Q1 何をするとところなの？



お子さん一人ひとりのペースや得意に合わせ、遊びを通して幅広い経験の中で成長できるようサポートしています。



私たちは、その子の興味や関心を活かしご家族も含め「生活の中での困りごと」を減らすために、「自分に合ったやり方」を身に付け社会へ踏み出す出発地点となるよう伴走します。

## Q4 どんな専門職が

働いているの？

- ・保育士(常勤9名)
- ・社会福祉士(常勤1名)
- ・児童指導員(常勤1名)
- ・言語聴覚士(常勤1名 非常勤1名)
- ・作業療法士(常勤1名)
- ・理学療法士(常勤1名)
- ・臨床心理士(常勤1名)
- ・公認心理士(常勤1名)
- ・看護師(常勤1名)
- ・医師(常勤1名)



様々な専門分野のスタッフがチームを組み、多角的な視点でお子さんの成長を見守ります。私たちは、子ども達の新しい一歩を信じ、その一歩に貢献したいと願っています。

## Q3 どんな活動があるの？

先生と新しい遊び方を覚えたり、一人で好きな遊びをじっくりと楽しんだり、先生やお友達と一緒に様々な活動に取り組んだりします。



そのお子さんにわかりやすい写真やカードを使い、「あ、わかった！」「あ！これならできる！」と思える瞬間を大切にしています。



## Q5 子ども達だけの場所なの？

療育は、お子さんだけのものではありません。ご家族が日々の育児の中でふと感じる不安や「どう接したらいいの？」などの戸惑いに寄り添います。

ご家族と歩調を合わせ一緒に悩み、一緒に喜び、お子さんの成長を支え合いたいと思っています。

私たちは、園や学校、地域などお子さんを取り巻く周囲の環境との橋渡し役となり、一貫したサポートを受けられるようお手伝いします。



次のような事業をおこなっております



### ある日の活動風景から ～「避難訓練」～



毎月の「避難訓練」も大切な療育活動です。  
「もしも」の時に備え、何度も体験し、身体で覚える事で、子ども達の「安心」や「自ら命を守る力」を育みます。  
写真は、カードを合わせ指定の場所に集まる練習です。  
子ども達は、同じ絵のカードを箱に入れ、同じ形に合わせるマッチングなら上手にできます。  
わかりやすい課題設定の中で、その得意を生かすことで、自らカードを手にし、足形に自身の足を合わせるといった自主的で望ましい行動をとることができました。